

令和2年3月30日

新宿区長 宛て

団体名 えんがわ家族
 所在地 東京都新宿区
 (フリガナ) ヤギハシ モエ
 代表者氏名 代表 八木橋 萌絵

新宿区協働推進基金助成金事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第12条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 収支計算額	収入	566,816	円
	(内助成金)	398,000	円
	支出	566,816	円

2 助成事業

事業名	食で地域の多世代をつなぐ 『えんがわ菜園・家族食堂』
実施の日時又は期間	令和元年 6月 ～ 令和2年 3月
対象者の範囲及び人数	0歳～90歳までの近隣地域にお住まいの方々。 主に未就学児～小学生のお子さんとその保護者、大学生、シニアの方。 《家族食堂事業》第1回～第3回 参加者延べ 175名 ボランティア延べ 24名 《菜園事業》 苗植え会/収穫祭 参加者延べ 58名 ボランティア延べ 8名
事業内容	多世代交流や子育て支援を軸に、子どもから大人まで地域の多様な人々がゆるやかに繋がり、自分の得意なこと・出来ることを活かし、共に支え合える温かい地域コミュニティづくりを目指し、今期は「食で地域の多様な人々を繋ぐ」をテーマに《えんがわ家族食堂事業》《えんがわ菜園事業》の2つの事業を展開した。

具体的な活動状況

【えんがわ家族食堂事業】

定期的に食を共にする事で、地域に継続的な繋がりをつくる事を目指し、誰でも参加できる地域コミュニティ食堂を開催。子どもからシニアまで近隣地域の方々と皆で料理をして共にワイワイ食卓を囲みながら食事を共にした。

(1) 第一回家族食堂

テーマ：子どもシェフキッチン おにぎり、豚汁づくり
実施日：7月11日（木）16時30分～19時30分
会場：戸山シニア活動館
参加人数：61名

(2) 第二回家族食堂

テーマ：子どもシェフキッチン カレーライス、サラダづくり
実施日：9月26日（木）16時～19時30分
会場：戸山シニア活動館
参加人数：74名

(3) 第三回家族食堂

テーマ：みんなで作るお正月！飾り巻き寿司づくり
実施日：12月22日（日）11時～14時30分
会場：戸山シニア活動館
参加人数：40名

(4) 第四回家族食堂

テーマ：スコーンづくり
～みんなでアフタヌーンティーを楽しもう！～
実施日：3月1日（日）13時～15時30分
会場：戸山シニア活動館
※コロナウイルス感染症の拡大防止対応により中止

【えんがわ菜園事業】

戸山公園近く、箱根山の麓の地域の高齢者施設の庭をお借りして、地域の方々と新宿で野菜づくりを実施。菜園に詳しいシニア世代指導のもと、土作りから野菜づくり行い、野菜の苗植え、収穫祭を行った。

(1) えんがわ菜園 苗植え会 & 豊作祈願祭（音楽ワークショップ）

実施日：7月27日（土）14時～16時
会場：新宿区 戸山いつきの杜
参加人数：29名
内容：地域の様々な年代の方々とトマト、きゅうり、おくらなどの夏野菜を中心とした苗植えと豊作祈願祭を実施。
豊作祈願祭では、音楽ワークショップアーティスト「おとみっく」と共に豊作を願うオリジナルの歌づくりや楽器を使った合奏を皆で行った。

(2) えんがわ菜園 収穫祭（音楽ワークショップ）

実施日：10月22日（祝）11時～13時30分 ※雨天決行
会場：新宿区 戸山いつきの杜
参加人数：29名
内容：野菜の収穫と、収穫を祝う音楽ワークショップを開催した。
7月イベント同様「おとみっく」とマラカスや太鼓などの楽器等を使い、収穫を祝う合奏を実施。台風の影響等で収穫野菜は限られたものだったが、野菜を使ったサンドイッチづくりは大好評で、野菜嫌いな子が自ら野菜を食べる姿もあった。収穫した野菜はお持ち帰り頂いた。

	<p>(3) 日々の菜園の手入れ ⇒ 菜園の土づくりや日々の水やり、雑草取り等は地域の方々に菜園ボランティアとして協力を頂いた。</p> <p style="text-align: right;">※ 各事業の活動の様子は別紙参照</p>
<p style="text-align: center;">事業の成果</p>	<p>参加者アンケートより、全事業総合して9割以上の方に高評価（大変満足・満足）を頂いた事と合わせて、本事業では以下の成果を得る事が出来た。</p> <p>○地域の多様な人々に出会えるきっかけの場（多世代交流） 本事業は地域の多様な方々に参加頂く事で、普段近隣に住んでいながらも日常生活の中ではなかなか接点が無い方同士の出会いの場、繋がり場を生み出す事が出来た。 参加者にはまだ0歳の乳幼児から90代のシニア層まで幅広い年齢の方々や外国籍の方などがおり、ボランティアスタッフとしては近隣にお住まいのシニアや小中学生のお子さんのママ、大学教員や大学生に協力頂いた。また、近隣自治会長や小学校校長、食材を提供頂いた企業の方や行政の方々にもお越し頂き、多様な世代・国籍・立場の方々に参加、支援、応援を頂く事が出来た。この多様な人々がごちゃまぜで食卓を共に囲む様子は、えんがわ家族食堂ならではの光景であり、当事業の大きな魅力の1つであったと考える。</p> <p>○子ども達の自己肯定感の醸成とシニア世代の社会参加の場の創出 本事業では子ども達の「やってみよう！」「できた！」という気持ちを大切に、自己肯定感を高める体験の場づくりに努めた。例えば料理作りでは子ども達の年齢に関わらず、4歳の子どもでも本人の希望があれば卵焼きや飾り巻き寿司等の少々難易度の高いものでも保護者やボランティアのサポートを受け、積極的にチャレンジの場を提供する事で子ども達から「難しかったけど出来てすごく嬉しかった！」と言った挑戦への喜びの声を多数頂く事が出来た。そして、それを見守る地域の方々からも「○○ちゃんすごいね！美味しいよ！ありがとう！」等の多くの承認メッセージを受ける事で、子ども達の自己肯定感を育む場を創出する事が出来た。 また地域のシニアボランティアの方々には、料理補助・子どもの見守り・菜園管理等、それぞれの得意な事や出来る事を活かしたサポートをして頂く事が出来た。「久々に赤ちゃんを抱っこし、子供たちのキンキン声がかかしく嬉しかった」「子どもが好きで、次回もぜひ何かお手伝いしたい」と言った多世代交流や自身の得意を活かしてサポート出来る事への喜びの声を多数頂くなど、地域シニアの新たな社会参加の場の創出にも繋げる事が出来た。</p> <p>○地域内での顔の見える温かく緩やかな繋がり 参加者からは「普段ご挨拶だけの繋がりだった方と、沢山お話し出来た事がとても嬉しかった」「新しく知り合いも増えて嬉しい。また一人近所でご挨拶のできる方が増えました！」と言った声も多数頂き、このような顔の見える繋がりを地域内で広げていく事は安心安全に暮らせるまちづくりや防犯・減災の観点においても、非常に意義ある活動であったと考える。 またシニアと大学生が食堂での出会いをきっかけに、その後料理が得意なシニアが料理作りに関心のある学生を自宅に招き料理講座を行ったり、家族食堂参加者である外国籍のご家族の方に自国の食文化について発表頂き参加者同士で異文化理解を深める等、本事業で生まれた参加者同士の繋がりを活かした活動を本事業内外に広げていく事が出来た。 このように本事業をきっかけに、世代や国籍を超えた温かく緩やかな繋がりが広がりを見せている事からも「食で地域の多様な人々を緩やかに繋ぐ」という本事業の目的は達成出来たと考える。今後は更にこの地域の繋がりを広く深くしていく事で、地域コミュニティの活性化と支え合いのまちづくりの実現を目指していきたい。</p>

令和元年度 一般事業助成実績報告書（別表）

事業名：食で地域の多世代をつなぐ 『えんがわ菜園/家族食堂』

実施期間：2019年6月～2020年3月

えんがわ 家族食堂	<p>(1) 第一回家族食堂</p> <p>テーマ：子どもシェフキッチン おにぎり、豚汁づくり</p> <p>実施日：7月11日（木）16時30分～19時30分</p> <p>会場：戸山シニア活動館</p> <p>メニュー：豚汁、卵焼き、煮びたし、おにぎり</p> <p>参加人数：61名</p>
	<p>(3) 第二回家族食堂</p> <p>テーマ：子どもシェフキッチン カレーライス、サラダづくり</p> <p>実施日：9月26日（木）16時～19時30分</p> <p>会場：戸山シニア活動館</p> <p>メニュー：カレーライス、サラダ、フルーツポンチ、ミニパフェ</p> <p>参加人数：74名</p>
	<p>(3) 第三回家族食堂</p> <p>テーマ：みんなで作るお正月！飾り巻き寿司づくり</p> <p>実施日：12月22日（日）11時～14時30分</p> <p>会場：戸山シニア活動館</p> <p>メニュー：飾り巻き寿司、お雑煮、芋きんとん</p> <p>参加人数：40名</p>
	<p>(4) 第四回家族食堂 ※コロナウイルス感染症の拡大防止対応により中止</p> <p>テーマ：スコーンづくり ～みんなでアフタヌーンティーを楽しもう！～</p> <p>実施日：3月1日（日）13時～15時30分</p> <p>会場：戸山シニア活動館</p> <p>メニュー：スコーン、サンドイッチ、スープ、フルーツサングリア、コーヒー、紅茶</p> <p>参加予定人数：50名</p>

えんがわ 菜園	<p>(1) えんがわ菜園 苗植え会&豊作祈願</p> <p>実施日：7月27日（土）14時～16時</p> <p>会場：新宿区 戸山いつきの杜</p> <p>参加人数：29名</p>
	<p>(2) えんがわ菜園 収穫祭</p> <p>実施日：10月22日（祝）11時～13時30分 ※雨天決行</p> <p>会場：新宿区 戸山いつきの杜</p> <p>メニュー：サンドイッチ、野菜スープ</p> <p>参加人数：29名</p>

一般事業収支決算書

費 目		決算額	内 訳
支 出 区 分	① 使用料及び賃借料	1,350 円	家族食堂打ち合わせ 集会室利用代金
	② 印刷製本費	10,520 円	チラシ印刷 / 資料コピー チラシ印刷費:4,914 円
	③ 消耗品費	104,764 円	【えんがわ家族食堂】 第1回 : 19,833 円(食材費、紙コップ、ラップ、子ども用マット、 子供用包丁、紙ナプキン、ビニール手袋、クリアファイル等) 第2回 : 28,675 円(食材費、紙コップ、ポリエチレン手袋、インク カートリッジ等) 第3回 : 27,265 円(食材費、ジップロック、コピー用紙等) 第4回 : 3,791 円(リボン、ラッピング袋、インクカートリッジ等) 【えんがわ菜園】 苗植え会 : 19,192 円(野菜苗、園芸用品、事務用品等) 収穫祭 : 6,008 円(食材費、ペーパータオル、紙皿紙コップ等)
	④ 委託費	72,069 円	チラシデザイン印刷データ作成費:72,069 円
	⑤ 講師謝礼	140,000 円	料理講師:10,000 円×4 名 = 40,000 円 菜園ワークショップ(2 回分):50,000 円×2 名 = 100,000 円
	⑥ その他謝礼	121,500 円	ボランティア謝礼 3,000 円×2 名=6,000 円 2,000 円×13 名= 26,000 円 1,500 円×9 名=13,500 円 1,000 円×6 名=6,000 円 菜園管理謝礼:1,000 円/週×35 週×2 名=70,000 円
	⑦ 交通費	0 円	
	⑧ 保険料	3,150 円	新宿区社会福祉協議会ボランティア行事保険
	⑨ その他諸経費	1,110 円	チラシ制作費振込手数料、保険料振込手数料
	⑩ 人件費	22,500 円	1500 円×3 時間×5 日=22,500 円
事業費 (①から⑩の合計)		476,963 円	
⑪ファンディングに関する経費		0 円	317,000 円 (千円切り捨て) 398,000-317,000=81,000 円
⑫助成対象経費 (事業費+⑪)		476,963 円	
余剰金 (A)		81,000 円	助成金交付額 398,000 円 - (476,963 円×2/3= 317,975 円) = 81,000 円 ※千円未満切り捨て
⑬助成対象外経費		8,853 円	お菓子代:3,343 円 PC周辺機器関連:5,251 円 ポイントカード加算分:259 円
事業総額		566,816 円	

収入区分	内 容	決算額	内 訳
	⑦事業収入 (参加費、資料代等)	75,100 円	【えんがわ家族食堂 参加費】 大人:500 円×80 名= 40,000 円 / 700 円×21 名=14,700 円 子ども:100 円×34 名=3,400 円 / 300 円×14 名=4200 円 【えんがわ菜園 参加費】 大人:200 円×15 名= 3,000 円 / 500 円×16 名=8,000 円 子ども:100 円×18 名=1,800 円
	①寄附金	52,100 円	サポーターによる寄付金収入
	⑦補助金収入	0 円	
	②協働推進基金助成金交付額	398,000 円	
	④団体負担金	41,616 円	
収入総額		566,816 円	
余剰金 (B)		0 円	

返 還 金	81,000 円
-------	----------

一般事業自己評価表

※事業実施における成果や実施にあたっての課題を記載してください。

評価のポイント	自己評価
事業計画及びスケジュールに沿って事業を実施できたか。	<p>家族食堂、菜園事業いずれも、大枠のコンセプト、内容に関しては計画どおり進めていく事が出来た。しかし、家族食堂の実施回数に関しては当初の計画では2か月に1回のペースでの実施を計画していたのに対し、他イベント開催との兼ね合いや会場予約の関係等で実際の実施は、7月、9月、12月の3回となった。(3月開催予定の家族食堂は、コロナウイルス拡大防止対応でイベント中止)</p> <p>また家族食堂立ち上げ当時は、平日夕方～夜開催を想定し実施していたが、活動を続けていく中で「家族食堂に子どもを参加させたいが、児童館や習い事の日程の関係で平日夕方は参加できない」といった声が多数あり、第3回の家族食堂以降は日曜日開催に変更するなど、地域住民のニーズに合わせた改善変更を重ねていった。</p>
実施にあたって、必要な人員体制がとられたか。安全確保がなされたか。	<p>いずれの事業も多数の住民ボランティアや大学生ボランティアスタッフの協力もあり、事故やトラブルがなく実施できた。家族食堂立ち上げ当初は手際よく進める事が難しかったが、イベント後に振り返りを行い、運営方法の改善に努めた。また管理栄養士の指導のもとに安全確保にも努めた。</p>
事業を通じて、多くの区民の社会貢献活動の啓発に役立つものとなったか。	<p>本事業はボランティアスタッフとして、近隣住民延べ32名、大学生延べ20名の方々に、料理補助・子どもの見守り・菜園管理等、それぞれの得意な事や出来る事を活かしたサポートをして頂き、イベント運営に多大な貢献を頂いた。これらの活動は、区民の社会貢献活動の啓発にも繋げる事が出来たと考える。</p>
地域課題や社会的課題に対してどのような成果や効果があったか。今後、見込まれる効果はどのようなものか。	<p>本事業は少子高齢化の町、新宿区戸山地域を拠点に活動を実施し、イベントには地域住民のシニアや子育てファミリーなど、多様な方々に参加頂く事が出来た。参加頂いた子育てママからは「近隣地域に挨拶の出来る知り合いが増えて嬉しい」と言ったコメントを頂いたり、シニアからも「小さな子どもの姿を見ているだけで、楽しく、元気がもらえて嬉しい」と言った感想を多数頂き『食で地域の多様な人々を緩やかに繋ぐ』という本事業の目的は達成出来たと考える。今後は更にこの地域の緩やかな繋がりを広く深くしていく事で、住民同士の支え合いの町づくりを目指していくと共に、支え手・受け手が固定されない多様な参加の場の創造に努めたい。</p>
団体の先駆性や専門性を活かすことができたか。	<p>いずれの事業も、団体メンバーであるキャリアアドバイザー指導のもと、キャリア教育の観点を取り入れたプログラム企画や、管理栄養士の指導のもと、食育の要素を取り入れたイベント運営を行う等、メンバーの専門性を活かした活動をする事が出来た。また以前からお付き合いがある地域のシニアボランティアの方々にも多大な協力を頂き、多世代交流の中で年長者ならではの知恵や経験、スキルを活かしたサポートをして頂いた。</p>

<p>経費見積りは適正だったか。</p>	<p>家族食堂事業に関しては初めての試みであったため、想定される事業予算と乖離があった。特に食堂事業立ち上げに伴い、当初想定外の物品等の購入（子供用包丁等）があったり、当初の予定よりも多くの方にイベント参加やボランティア協力頂いた為、材料費や謝礼が増えた一方、イベント実施回数は予定より減った事で、イベント1回あたりのコストが高くなってしまった。今回の学びを今後の活動に活かしていきたい。また当初予定していた新聞折り込みやDMによる広報活動に関しては、近隣小学校や自治会主催のお祭りでのチラシ配布や参加者からの口コミといった方法で十分な周知が図れていた為、今期は実施しなかった。</p>
<p>（今回の事業を次年度以降も継続していく場合）継続性や発展性が期待できるものとなったか。資金確保に努めたか。</p>	<p>回数こそ当初予定には満たなかったが、家族食堂1回辺りの参加人数は毎回当初の予定を上回る多くの方々にご参加頂いた事からも、当地域においての需要や期待を感じる事が出来た。</p> <p>また第4回家族食堂では、地元カフェとのコラボレーション企画で、地域資源を活かした協同イベントの新たな取り組みとして今後の発展性を期待できるものであった。しかし、これらはコロナウイルスの影響で中止となった為、本企画においては来期に延期し実施していきたい。</p> <p>また資金確保に関しては、今回は助成金によって収支が成り立っていたものの、助成金無く参加費のみでの運用には限界がある事を痛感した。今後、助成金に頼らない持続可能な資金運営を行う為にも、コスト削減につながる仕入れ先の開拓や工夫、イベント参加費以外の収入源を確保する等、資金確保の仕組みづくりの強化を行う。</p>
<p>事業の実施にあたって、課題や問題点はあったか。どのような対策が考えられるか。</p>	<p>来期に向けて、次のステップアップとしては以下の課題対応を検討していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初対面の多様な参加者同士が緩やかに繋がりやすくなるような仕掛けや工夫 ⇒初対面の多様な人々が、ただ同じ空間に居るだけでは交流は生まれにくい為、今後は参加者同士が緩やかに繋がられる様な仕掛けづくりが必要だと感じた。 ・企業 / 他団体 / 学校 / 行政 / 個人との連携強化 ⇒食材の寄付や支援をして頂ける企業や団体、個人との連携。専門職による多職種連携、地域住民や商店、学校等との協働。また、地域住民の得意な事やスキルを活かした企画を行っていく事で、地域資源を活かした新宿ならではのプログラムや場を生み出していきたい。

5 その他

*参加者アンケートの結果を報告してください。

*事業の成果物(冊子等)、事業の開催時の写真等提出できるものがある場合は、添付してください。

※ 別紙参照

イベントアンケート結果

※イベント終了後にアンケートを行った為、参加者数に対して回答数が非常に少なくなっております。
(特にシニアの方々はお早目にお帰りになられる関係で、回答数が少なくなっています)

【 第1回 えんがわ家族食堂 アンケート結果 】

大変満足	満足	普通	やや不満	不満
7	3	3	0	0

回答数：13名

《フリーコメント》

- ・同じ号棟の方と同じテーブルでした。ご挨拶だけの繋がりでしたが、本日この機会に沢山お話し出来たことがとても嬉しかったです。美味しいゴハンと楽しいおしゃべりで、素敵な時間を過ごす事が出来ました。感謝。皆、一生懸命で嬉しかったです。
- ・楽しい会でした。もう少し早い時間に始まると更に嬉しいです。楽しいイベントを一生懸命考えて下さり、ありがとうございました。
- ・素晴らしいイベントだと感じました。色々お世話になりました。
- ・なかなか経験出来ない事が出来て良かった。色々な年代の方と交流できたのも良かった。
- ・子どもが初めて食事を作るのを体験させて楽しかったです。

【 第2回 えんがわ家族食堂 アンケート結果 】

大変満足	満足	普通	やや不満	不満
14	5	1	1	0

回答数：21名

【フリーコメント】

- ・地域の方との交流がすごく良かった。
 - ・小さなお子さんたちが一緒に力を合わせて作り上げたカレーライスは格別に美味しかったです。どうもありがとうございました。ごちそうさまでした。私は時間の関係でギリギリの時間に来たのですが、最後の“いただきます”“ごちそうさま”の意味は、大人でも普段忘れがちになってしまいます。改めて、その大切さを学びました。食育は大切ですね。
 - ・楽しかったです。短期間でしたが、沢山の地域の色々な方々が会話してる。それで人数が多いのが良かったです。また企画してほしい。十分おなか一杯になりました。会話が苦手だったんですが、一緒に食べるだけで良かったです。子供の食育が進んでほしいです。
 - ・はじめて来ましたが大変良かったです。
 - ・今日のお食事もと一っつも美味しかったです。新しくお知り合いも増えて嬉しいです。
- また一人、ご挨拶のできる方が増えました！！
- ・多世代との交流ができたり、包丁など子供に経験させられて良い機会だと思った。
 - ・また参加したいです。野菜の収穫が出来なかったのが残念。

